

おいしいね!

生協 アイチョイス 岐阜機関紙



2024.3
つばめ号
軒下などで子育てから巣立ち
までを見せてくれる身近な鳥

発行責任者 生活協同組合アイチョイス岐阜
理事長 子安 貞継
☎058-215-5566

2024年は残念ながら「悲しみの年明け」となってしまいました。

1月1日午後4時10分頃に発生した「能登半島地震」は石川県を中心に大きな被害をもたらしました

この地震でお亡くなりになられた方々のご冥福を謹んでお祈りするとともに、

被害に遭われた皆さまに心よりお見舞い申し上げます



食からみた平和 特別版 / 震災について

ドンッ! という強い音と揺れ。元日の夕方、見るとは無しに見ていた
テレビの画面が変わり震度7の地震が能登で起きた事を伝えました。

「皆さん、ただ今の地震により津波が発生します。今すぐに安全な場所に避難して
下さい」と警告するアナウンサーの様子からも容易ならぬ事態だという事が伝わります。

津波と言えば東日本大震災の時、海水が壁のように膨れ上がり、帯のように長く沖から押し寄せ
人命、田畑、家屋などと共に長年にわたり培われた共同体のつながりも呑み込んでしまいました。

この事態の中で、アイチョイスグループでは仲間の生協と共に現地への応援と
手助けにかけつけました。

生協の「助け合う、よりそう、もったいない」の心です。困っている人、大変な目にあっている
人に寄り添ったり、助けようとする気持ちは、人がこの世に生を受けて初めは親や親族から、
そして友達や学校地域社会の中で育まれるものです。

しかし昨今、少し気にかかる事があります。私が住んでいる地域でいえば、通学時の子どもの
声、公園で遊ぶ子ども達の姿がすっかりなくなった事です。少子化による日本全体の事もしれ
ませんがただそれだけでも思えません。ここ数年のコロナにより、地域全体の有様を考え直す、
見直す時が始まったのではと思うのです。

子育て・高齢者・助け合い…などが日常的にある中で、子どもから成人まで一緒になって考え、柔軟性に
富んだコシのある地域社会を造り上げるためのコロナだったかもしれないという思いもあります。

「助け合う、よりそう、もったいない」の心が子どもだけではなくおとなにも再度生まれるかもしれない、と。
私達の生協、アイチョイス岐阜は宅配というネットで地域社会とつながっています。そこから地域社会と
交わり、よりそうことができます。

また震災を受けた人達に「よりそう」という事はどのような事かと私なりに考えてみました。
災害地からは遠く、高齢の私ができる事はせいぜい募金に参加するくらいしかないと思っていましたが、
そうではなく悲惨な出来事やそれで苦しんでいる人達を忘れないで、安寧な日が早く来る事を祈り、いつ
までも心に留めておくことだと思います。

アイチョイスグループでは、1月3週から2月3週にかけて、組合員の皆さまに向けて「緊急募金」をお願いしました。

ご協力いただきました皆さまに心から感謝申し上げます。

ずいぶん前から東海・東南海地震がいつ起きても不思議でない…と言われています。私たちが今回の地震を我が身として
受け止め、「備える」ことの大切さを痛感しました。組合員の皆さま、被害がないことを、そして被害が少なくなることを
願い、「どうか、備えてください」



環境

災害 自然

再生

総会

第7回コープ恩納村 サンゴの森連絡会 総会 1/13

コープ恩納村サンゴの森連絡会ってなに？

人間の生活と自然の共生を大きなテーマとし、恩納村の漁業
資源の活用を通じて恩納村漁協のサンゴ再生事業を支援します
海の環境を守り・育てる「里海づくり」を推進しています。
アイチョイスグループも、この取り組みに参加しています

2023年度活動振り返りでは、サンゴ植え付けの実績報告がおこなわれました。

年度内の植え付け本数は46,800本あり、その内3,200本は連絡会に参加している生協の組合員さんが購入
してくれた もずく関連商品からの寄付が生かされているということでした。

連絡会はそれ以外にも活発な活動をおこなっており、連絡会参加生協の組合員との産地交流会や恩納村で開催
される「うんなま祭り」に出展し、来場した方に連絡会の取り組みを知っていただける有意義な場となったそう
です。

海域の里海づくりは、里山の環境保全活動にも広がっており、耕した畑の赤土が雨で海に流れ込むことを防止
するために、恩納村漁協青年部が農家さんに協力して「グリーンベルト」(ベチパーというイネ科の多年草草本)を
植えて流出防止に取り組むことや、「Honey&Coralプロジェクト」と称して、農家さんの副業として陸域の農耕地
に緑地帯を設置し、そこに咲く花からミツバチを利用して蜂蜜を採取、販売して利益を還元しています。

※農家さんに、手間や費用の掛かることを要求するだけでは環境保全活動が進ま
ないため、村民間の協力体制や利益還元の仕組みづくりをおこなっています。

理事
活動

恩納村コープサンゴの森連絡会 11/17.18 産地交流会

■沖縄県国頭郡恩納村

前回の報告に続き、第二弾の報告です。
中身の濃い交流会だったので、まだまだ話し足りません!

Part 2

海藻のない沖縄ではサンゴが海の豊かさに大切な役割を果たしていることを1月のやまがら号で
お話ししました。今回はサンゴと深い関係のある恩納村のもずくについて伝えたいと思います。

もずくには①太もずく②糸もずくの2種類があります。

①太もずく

他の沖縄でも一般的に収穫されているのが太もずくです。
私達がスーパーでよく見かけるのもこの太もずくで、ナガ
マツモ科のオキナワモズクをいい、中は空洞で、そこに
ヌメリがあり、シャキシャキの歯ごたえを楽しめます。

②糸もずく

モズク科のモズクをいい、細く表面がヌメリでまとわれて
おり、ツルツルの食感を楽しめます。

もずくの食べ方
いろいろ



- ◎もずくの天ぷら
- ◎ツナ缶と玉ねぎ、にんじんの千切りを
だし汁でゼリー状に固めて寒天風に
- ◎あっさりだしベースのうどんにのせても

その他に糸もずくの一品種で、太もずくのような歯ごたえと糸もずくのようなヌメリを持った、まさにいい
ところともいえるもずくがあります。**恩納村もずく**です。

恩納村もずくは2006年1月に発見された新品種のもずくです。2020年以降不作が続いており、しばらく
供給を休止していましたが、2023年度からようやく販売が再開されました。カタログで見かけたときは飛び
上がるほど嬉しかったです。

「種つけしてからもずくが生えてくる間の雑草をとるのが本当に大変」
「台風の時にもずくについた泥をとる作業や、魚に食べられないよう網をはったりするのが大変」
そんな現地の方の話を聞くと、思っていたより長い時間、手間ひまかかることがよくわかりました。

また気象状況や海水温度でもずくの収穫量が左右されたとき、購入者の方に「来年まで待つよ!」と言って
もらえるのが心強いとも話されました。

3種類のもずくが作れる技術があるのは恩納村漁業共同組合だけ。こんなに大変な思いをして作られた
もずく。味わい深いです。 [理事H.Y.]

おいしいね!



理事活動 アイチョイス・コープ自然派産直委員会 イベント

■コープ自然派奈良

12/20



コープ自然派奈良の「にんじんキャラバン」を視察に行ってきました。「にんじんキャラバン」とは、コロナ前に熊本で有機の学校を作る取組みがあり、農家の鳥越さん達を中心にBLOF理論の実践で野菜の供給体制が整ってきた当時に、関西四国の生協ではまだ認知度が高くなかった中で「九州の有機の学校の取組みや生産者のことをしてもらおう」という経緯で始まったものです。

当日電車のトラブルで奈良の理事さん数名が予定時間に来られなくなり、急遽私たちがお手伝いすることになりました。着いてすぐに大量のにんじんを切り、準備に追われました。

キャラバンの今村さんと西山さんはオーガニックスマイルの講師でもあります。今村さんは、以前私たちがオーガニックスマイル有機の学校を訪れた時、トマトの収穫の真っ最中の生産者さんでした。今はにんじんの収穫時期ですが、今年は異常な暑さで思うように育たなかったそうです。その苦労話をパワーポイントを使って話してくださいましたが、時々笑える画像があったり、自ら保育園児向けの絵本を制作し、それを聞かせてもらったりしました。その絵も見事で今村さんのイメージがいい意味で大きく変わりました。

その後、試食会はバイキング形式でいただきました。メニューはにんじんの炊き込みご飯・人参パペ・ベビーリーフのにんじんドレッシングかけ・にんじんステーキ・クリームスープ・生のにんじんスティック・おまけにママの餃子。カラフルでどれも美味しく、皆さんがおかわりしていました。

組合員さんの参加はインフルエンザ等の流行もあって少なかったのですが、有意義な時間を過ごすことができました。[理事H.I.]



理事活動 アイチョイスグループ 生産者訪問 2/1~2

■高知県土佐市 他

■日程



2/1	土佐鯉節発祥の地「竹内商店」 天敵農法「かめのご農園」 堆肥場見学「高知競馬場」	2/2	都築さんナス圃場 前田さんパブリカ圃場 有機ニラ「大地と自然の恵み」 特別栽培米「武市農場」
-----	--	-----	---



高知県で最初に訪れたのは、土佐の鯉節発祥の地「竹内商店」さん。戦後まもなくの頃は30件あった土佐節を作っている節納屋も、今は3件のみだそうです。しかも、土佐で本枯節を作っているのは竹内商店だけ。

本枯節は温度管理をしながらカビ付けをし、天候を見ながら10回ほど天日干しを繰り返し(2日干して10日休ませる)出来上がるまでに半年かかる手間ひまかけた一品。

荒節は、鯉をさばいて湯がき、骨を抜き、5層になっている(5階建て)建物で燻製する。鯉の状態を見ながら蒸籠の場所を変え、すべて一つずつ職人さんの目で見極め手作業で出来上がるもの。昔ながらのやり方で作り続けられていました。使われている道具からも歴史を感じました。

鯉節はお料理では脇役のイメージでしたが、名脇役でした。いただいた黄金色の出汁は、ふわっと鯉の香りがして、優しいうまみに包まれていました。この出汁で作るお味噌汁が一番おいしいのだと。つい、出汁パックを使ってしまうのですが、日本の食の伝統、文化を残し伝えるためにも「鯉節で出汁をとる」ことを毎日できなくても、週に一回でもやっていきたいと思いました。何よりも、美味しいから。簡単、便利も必要なことですが、ひと手間を楽しみたいな、と思いました。食を見つめ見直す、そんなことを感じたひとときでした。

その後、高知県は天敵農法が盛んだということで何件か圃場に行かせていただきました。こちらの報告はまた次回にお伝えしたいと思います。[理事Y.N.]



理事活動

アイチョイス・コープ自然派 生産者消費者討論会

1/30

基調講演 新たな放射線育種問題から食の安全・環境保全を考える 重イオンビーム育種とは?

■兵庫県民会館 ハイブリッド開催 (実参加とオンライン配信)

講師 印鑰 智哉 さん (OKシードプロジェクト事務局長/民間稲作研究所常任理事)

“食の安全・環境保全を考える”消費者討論会にオンラインで参加しました。講師としてOKシードプロジェクト事務局長の印鑰智哉さんを招き、「ガンマ線育種と重イオンビームの違い」についてわかりやすく説明されました。

中でも特に印象に残ったのが、重イオンビームを使ってカドミウムを吸わないコシヒカリを作ったという話です。さらにこのままだと2025年には、秋田こまちが全て重イオンビーム米になってしまうそうです。兵庫県でも同じような話が進んでいたが、市民の反対により止まったそうです。一市民が変われば国も変わるー私達組合員がアイチョイス岐阜を通してできる事、それはOKシードプロジェクトに署名することからはじめられると思いました。[理事H.Y.]



重イオンビームとは

新品種開発のため、重イオンビーム(放射線)を照射し、遺伝子の二重鎖を直接破壊して突然変異を引き起こすこと。重イオンビーム放射線育種は世界でも日本では行われていない。実績もわずか。

ガンマ線育種?重イオンビーム?と難しい言葉がたくさんでてきて、理解できないのではと思って聞いていましたが、わかりやすく解説していただき、私達の知らない所で遺伝子操作がいたも簡単に行なわれている事を知りました。消費者としてわからないものを食べたくないです。[理事M.Y.]

生協よりのお知らせ

2024年度 総代を募集します

生協は、ひとりひとりの組合員が出資し、利用し、運営に参加することで成り立っています。総代会は、組合員が運営に直接参加する唯一の機関です。今年の第19回総代会は6月の中下旬に開催予定、そこに参加(実出席もしくは書面議決出席)していただける《総代》を募集します。開催日程が決定する4月以降に、正式にお知らせいたします。皆さんの立候補をお待ちしています。

アイチョイスグループ方針説明会 2/5

■ウインクあいち会議室(名古屋駅前)

連合会アイチョイスと会員生協(アイチョイス岐阜、あいち生協、一宮生協)の常勤役員と組合員理事・監事が参加(会場参加とオンライン参加)し、各生協と連合会各部門の2024年度方針について提起、確認を行いました。

↓どちらもフォロー&友達追加をお願いします!



学習会

全岐阜県生協連学習会 2/6

■ハートフルスクエアG研修室

テーマ「生協法制度見直しの経過、到達点・課題の学習を通して、生協の存在価値と目指したい姿を考える」

講師:日本生協連・常務理事 二村睦子さん

理事長と専務理事、組合員理事・監事の計5名で参加(実参加3名・オンライン2名)理事長と専務理事、2028年度に予定されている生協法制度見直しのポイントについて講演いただきました。

委員活動

総代だより

特集 かいわれ大根の発芽実験/はなしルフレズ(地区組合員交流会) 10/16~18 開催報告/2024年1月号発行内容 「ゲノム編集魚を考える市民集会in京都」参加報告/テーマ会開催報告/有機栽培って何?(4コマ漫画) 他

理事会報告

2023年度 第7回理事会

2023/12/21 生協富加センター会議室 他
出席:理事10名(11名中)
監事3名(3名中)

【協議決定事項】消費生活協同組合検査の結果について 文書管理規則の改訂について 資格取得支援制度に関する規則について 電子取引データの訂正及び削除の防止に関する事務処理規程について 2023年11月30日現在の2項組合員について

2023年度 第8回理事会

2024/1/25 生協富加センター会議室 他
出席:理事11名(11名中)
監事3名(3名中)

【協議決定事項】2023年12月31日現在の2項組合員について
【決議事項】経営リスク保険(生協役員賠償責任保険)の加入について

【報告事項】月次決算報告について

供給高	12月 238,294千円	予算比 (95.4%) 前期比 (100.5%)
	12月までの累計 1,742,929千円	予算比 (93.6%) 前期比 (105.9%)
経常剰余金	12月 3,420千円	12月までの累計 6,733千円

仲間づくり(組合員拡大)

加入件数	12月 259件(計画252件)	12月末の組合員数 18,822人 前期比 (111.0%)
------	------------------	-----------------------------------

CO-OP共済

加入件数	12月 4件(計画20件)	12月までの累計 114件
保有件数	12月 2,151件	前年比+60件